



発行日：平成28年11月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会事務局

### ◆第35回川部会WGを開催しました！

10月14日（金曜日）に第35回川部会WGが矢作川豊田水防センター会議室にて開催されました。今回のWGでは、矢作川38.8k~40.8k左岸、加茂川水門下流の魚道を現地調査し、意見交換を行いました。

日時：平成28年10月14日（金）13:30~17:00  
会議場所：矢作川豊田水防センター会議室  
参加者：19名（事務局含む）



### ◆主な意見交換内容

#### 1.本日の話し合いでわかったこと、決まったこと

右図のルート歩き、現地状況を確認しながら意見交換を行いました。

##### ■加茂川の堰上げ式魚道について

- 出水等により石積みが一部崩れ、魚道上に自然の水みちが形成されていました。
- 現在施工途中のため、次回の施工時もMLにて参加者を募ります。ぜひご参加ください。

##### ■矢作川本川の状況について

- 9月の大きな出水（3年ぶり）による大きな地形変化はみられませんでした。
- 白浜工区では、2012年の工事後から2013年の大規模出水を経て、現在までにどのような地形変化があったのか、鷲見先生より説明を受けました。
- 調査日は通常より流量が多く、水位差が小さかったため、瀬の詳細状況は確認できませんでした。
- 白浜工区内で実施されているモニタリングについては、12月のWGで大同大学の成果としてご報告いただきます。
- 久澄橋下流の右岸側で実施されている住民との協働による竹林伐開箇所の状況を確認しました。次回は10月29日（土）午前11時より作業が実施される予定です。
- 内田先生より、河道内に生息する水生昆虫の状況について説明を受けました。
- 河川協力団体による整備状況を確認しました。
- 高橋上流では、豊田加茂建設事務所により試験的に施工された落差工の設置箇所を確認しました。

今年度は試験的に分散型落差工が3箇所設置された（次回WGで詳細内容を確認予定）。

調査区間において、9月の台風による大きな地形変動はみられなかった。

本来は州が左右に変動することが望ましいが、当該箇所の州は橋脚の影響により形成されているため難しい。

住民との協働による竹林伐開作業を実施中（次回は10/29に実施予定）。

明治用水頭首工でのゲート操作の影響により、上流側と比較して水位変動が小さい。

高橋の拡幅のための半川締切工事影響により、高橋上流の瀬が消失する可能性がある。これを防ぐため、高橋上流に分散型落差工が計画されている。

古い水制工。江戸時代の絵地図にも載っている。

矢作川森林塾の活動により竹林を伐開。当時残した小さなエノキが直径15cm程度まで生育している。

ヤナギが上下流の列状に生育。出水とその後の水際線が大きく関係。

現在施工中の堰上げ式魚道を見学。

ゲートにより出水時の浸水期間が長く、地表面には本来の白砂ではなく黒泥が堆積している。

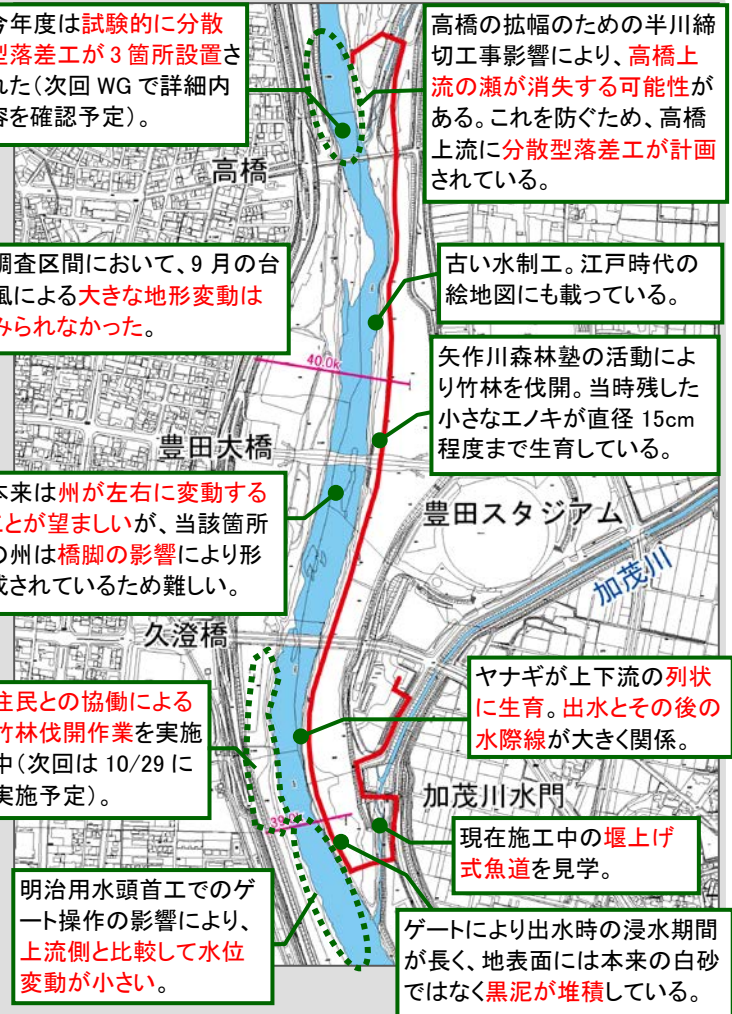


図 現地調査ルート（赤線）および現地状況

#### 2.今後のスケジュールについて

- 11月11日（金）：広域サイクリングロードについて、高橋上流瀬の保全対策について
- 12月9日（金）：総合土砂管理における給砂実験の報告、白浜地区モニタリング報告
- 1月20日（金）：川部会の今年度の活動報告及び来年度の活動方針

### 3.意見交換



●出席者による主な意見交換内容は、以下のとおりです。

(●意見 ▶回答)

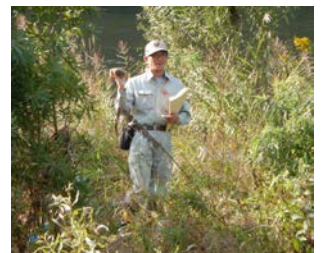
#### (1) 加茂川の堰上げ式魚道について

- ・護岸に板を貼っているのはなぜか。(内田)
  - ▶ 石を河床に落とす際に、護岸を傷めないために設置している。滑り台のように、板の上に石を転がして落としている。(事務局)
- ・石積み内を水が抜けてしまっており、水位があがっていない。魚道を嵩上げする際にはゴザなどを敷き、草を詰め、その上に施工すると良いと思う。(本守)
- ・こういった魚がいるのか。(高橋)
  - ▶ オイカワが中心である。1m程度のコイも数匹生息している。(事務局)



#### (2) 矢作川本川の状況について

- ・今日は全体に水位が高いが、明治用水頭首工の影響区間においては通常より5cm高い程度である。これは、下流のゲート操作により水位を安定させていることによるものである。(鷺見)
- ・豊田大橋～久澄橋の中間左岸部には大きな石が埋め込んであり、水があたっても洗掘されないようになっている。東海豪雨の時も掘れなかった。カワヒバリガイもたくさんついている。(内田)
  - ▶ この場所は中州を挟んで左右岸で縦断的に落差のある位置が異なっている。(鷺見)
- ・古い水制工の上に手のひら程度の石(右写真)が載っていた。(鷺見)
- ・竹林伐開は、矢作川森林塾やトヨタ自動車の協力と言ったが、どのような方法で作業をしているのか。(本守)
  - ▶ 100人がそれぞれノコギリを持って人力で伐開作業をしている。前は5月に実施し、これまで2~3回程度作業を行っている。(事務局)
- ・一斉伐開範囲には護岸は設置しないのか。(光岡)
  - ▶ 現状は法面勾配が急なため、何かしらの施工は考えている。(事務局)
- ・伐開範囲にキツネやタヌキの穴があれば、その写真を見せていただきたい。(高橋)
- ・矢作川の電気伝導率は5.56mS/mと低い。栄養分についても他の川と比べて低い状況である。(鷺見)
- ・高橋上流の試験施工内容や写真、今後の計画について教えていただけるとわかりやすくてよい。(服部)



#### (2) 振り返り

**よかったと思うこと:** 現地の経過現況が確認できたことがよかった。/現地が多く視察できたこと。/施策の進捗状況を確認することができた。/日頃は堤防から見えていたが、久しぶりに川辺から観察できて違った印象をもった。特に河畔林の大きさ。全体として悪くない環境と思う。/魚道の途中段階で見れたこと。どのように変わっていくのか、また途中段階でも問題点が見れそうで良かった。/現地を見ることができて良かった。

**よくなかったと思うこと:** 高橋上流の床止め、橋梁旧ピア、掘削計画の図が提示されるべき。/漁協にも来ていただきたかった。

**今後取り組んでいきたい活動など:** 川の諸条件の観点から改善すべきところを具体的に現地で討論できると良い。①ダムの特長・デメリットのうち、土砂の生産を止めることは議論している。②洪水が少なくなる、小さくなることで河道形状を支配する平均流量をどれだけ小さくするか検討していきたい。/豊田市域外への展開

**質問など:** 次回、説明していただけたことになったが、河床などで行っていることなどについては、施工時の写真や図面などで見せていただけたらと分かりやすくて良いと思いました。



### 今後の流域圏懇談会の予定



#### ■第36回川部会WG

日時:平成28年11月11日(金)13:30~ 豊田市職員会館

内容:広域サイクリングロードについて、高橋上流瀬の保全対策について



#### ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 大森、技官 宇野

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト(yahagigawa@ijinet.or.jp)までお送りください。

